

令和5年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科 通信制課程	科目名	観光DX		
授業種類	講義	履修区分	必修	履修時期	通年
単位数	2単位	担当教員	酒井智昭		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>本授業では、DX(デジタルトランスフォーメーション)を通して、IT戦略やマネジメント論を学びます。デジタル化による業務効率化や新たなビジネスモデルの創出は、企業にとって大きな課題であり、DX人材の価値は高まっています。デジタルの知識だけではなく、DXプロジェクトの推進方法についても習得します。</p>				
	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> 1 DXに関連する基本的な用語と一般的な進め方について理解する。 2 デジタル化について、組織のもつ課題の洗い出しと対処法の発案と計画ができる。 				
授業計画					
前期			後期		
4月	DXの基本		9月	DX推進における企業の課題	
	世界中の人々をつなげるビジネス			DXの大まかな進め方を決める	
	バーチャル空間を活用したビジネス			デジタルツールの活用度合いを確認する	
5月	システム導入による作業の効率化		10月	DXの計画を立てる	
	人による作業のデジタル化			RPAとBIツール	
	企業と顧客をつなげるサービス				
6月	販売管理システムによるロスの削減		11月	デジタルツールの選定	
	シェアサービス、レンタルサービス			DXの事例	
	IoT			DX推進における課題への対処法	
7月	ビッグデータを活用したサービス		12月	DXの進め方	
	ITビジネスの連動			企業でよく使われているデジタルツール①	
	ビジネスの要件				
8月	DXの実現方法		1月	企業でよく使われているデジタルツール②	
	前期振り返り・復習			後期振り返り・復習	
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	<p>教科書 DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略 著者:小野塚征志 インプレス 教科書 担当者になったら知っておきたい 中堅・中小企業のための「DX」実践講座 著者:船井総合研究所 デジタルイノベーションラボ 日本実業出版社</p>				
成績評価	<p>成績評価方法 1.授業態度 20% 2.前期試験と後期試験 80%</p>				
履修上の 留意点	常に最新のテクノロジーに関心を持ちながら学んでください。				